

★RIM JAPAN PRODUCTS INTELLIGENCE DAILY

★No. 6933 May. 01 2015

Copyright (c) 2015 RIM Intelligence Co. All rights reserved.--Tokyo, 20:00 JST

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号

「4リム価格」は登録商標です 登録番号・第5660925号

「リムラック価格」は登録商標です 登録番号・第5660926号

◎1日のレックス22は、前日比0.05ポイント上昇の108.95です

1日のレックス22は小幅上昇。国内指数の軽油とガソリンが切り上がった。

◎アセスメントメソドロジーの刷新

リム情報開発はPRA(Principles for Oil Price Reporting Agencies)原則の遵守を目的に、3月23日からジャパン海上レポートの「アセスメントメソドロジー」を刷新しました。「アセスメントメソドロジー」の冒頭に、価格評価方法の適切性を掲載するとともに、PRA原則の遵守に伴い数量の表記なども調整しました。詳しくは国内石油製品チームまで。

電話：03-3552-2411 E-mail：info@rim-intelligence.co.jp

◎リム新書『ニュースで分かる「世界エネルギー事情」』発売のお知らせ

リム情報開発株式会社は2015年4月、「リム新書」を刊行する運びとなりました。初刊は弊社取材記者の阿部直哉が執筆した『ニュースで分かる「世界エネルギー事情」』です。世界各地のエネルギー動向を360ページにわたり解説した、充実した内容の一冊となっております。ぜひご購入ください。

[詳細はこちらをクリック](#)

定価：1,000円（税込）

【お問い合わせ先】

電話：03-3552-2411

E-mail：info@rim-intelligence.co.jp

【リムレポートサンプル】 ※レポート名をクリックすると、各レポートの見本にジャンプします。

サンプルは本日付けではございません。あらかじめご了承ください。

[原油・コンデンセート](#) [Bunker](#) [LPG](#) [LNG](#) [アジア石油製品](#) [ローリーラック](#)
[石油化学](#)

[RIM Data File](#) [石油化学データ](#) [中国語版ウェブサイト](#)

No. 6933 May 01 2015

◎国内石油製品海上バージスポット市場（製油所・油槽所バージ取り・円/kl）

東京湾(京浜/千葉)	固定値	中値	前日比	市況連動
ガソリン	+ 62,600~ 62,800+	62,700	+700	-500/-300
灯油	+ 57,700~ 58,100+	57,900	+450	-300/-100
軽油0.001%S	+ 57,500~ 57,700+	57,600	+550	+100/+500
A重油1.0%S	+ 54,700~ 54,900+	54,800	+300	-400/-200
LSA重油0.1%S	+ 54,900~ 55,400	55,150	+150	-400/+100
LSC重油0.3%S	49,000~ 50,000	49,500	+0	+300/+700
HSC重油3.0%S	42,600~ 43,600	43,100	+0	+300/+700

西日本(阪神/大西)	固定値	中値	前日比	市況連動
ガソリン	+ 62,100~ 62,600+	62,350	+1,000	-200/0
灯油	+ 57,000~ 57,500+	57,250	+450	0/+200
軽油0.001%S	56,900~ 57,400+	57,150	+100	-200/+200
A重油1.0%S	+ 54,700~ 54,900+	54,800	+200	-400/-200
LSA重油0.1%S	+ 54,900~ 55,100+	55,000	+200	-400/-200
LSC重油0.3%S	49,000~ 50,000	49,500	+0	+300/+700
HSC重油3.0%S	41,600~ 42,600	42,100	+0	+300/+700

市況連動はリム月間平均値に対するプレミアム/ディスカウント 前日比は固定値中値ベース

◎国内石油製品ペーパーズワップアセスメント（東京湾製油所バージ取り・円/kl）

	5月	6月	7月
ガソリン	+ 62,700~ 63,000+	+ 63,800~ 64,400+	+ 64,400~ 65,000+
灯油	57,500~ 58,500+	+ 59,400~ 60,000+	+ 59,700~ 60,300+
軽油0.001%S	+ 57,000~ 57,500	+ 58,500~ 59,100+	+ 58,500~ 59,100+
A重油1.0%S	+ 54,800~ 55,400+	+ 54,800~ 55,400+	+ 54,800~ 55,400+
LSA重油0.1%S	+ 55,000~ 55,600+	+ 55,000~ 55,600+	+ 55,000~ 55,600+
LSC重油0.3%S	49,000~ 50,000	49,000~ 50,000	49,000~ 50,000
HSC重油3.0%S	42,600~ 43,600	42,600~ 43,600	42,600~ 43,600

◎東京商品取引所石油先物（東京湾製油所・油槽所バージ取り・円/kl）

ガソリン	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
6月限	63,350	63,500	63,300	63,440	+750	82
7月限	64,040	64,040	63,730	63,960	+820	119
8月限	63,980	63,980	63,570	63,950	+910	221
9月限	63,440	63,440	63,050	63,360	+880	496
10月限	62,830	62,880	62,560	62,860	+910	1,182
11月限	62,800	62,800	62,450	62,740	+900	2,019
合計	4,119					
灯油	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
6月限	59,470	59,470	59,150	59,280	+690	47
7月限	59,690	59,760	59,540	59,660	+710	81
8月限	60,660	60,660	60,260	60,370	+800	64
9月限	61,410	61,420	61,100	61,350	+900	194
10月限	62,420	62,420	62,010	62,300	+990	614
11月限	63,150	63,170	62,810	63,060	+1,020	863
合計	1,863					

軽油	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
6月限	-	-	-	59,000	+700	-
7月限	-	-	-	59,000	+700	-
8月限	-	-	-	59,000	+700	-
9月限	-	-	-	59,000	+700	-
10月限	-	-	-	59,000	+700	-
11月限	-	-	-	59,000	+700	-

合計 0

原油	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
5月限	47,830	47,990	47,750	47,910	+960	100
6月限	48,670	48,670	48,320	48,500	+1,060	89
7月限	48,740	48,740	48,440	48,610	+940	127
8月限	48,950	48,950	48,640	48,840	+900	1,677
9月限	49,140	49,320	48,980	49,180	+850	6,752
10月限	49,800	49,800	49,490	49,610	-	4,956

合計 13,701

 取組高：ガソリン＝ 20,942 灯油＝ 10,282 軽油＝ 0 原油＝ 43,464
 1枚＝50kl

◎東京湾製油所出し陸上スポット価格（千葉・川崎平均値 円/kl）

ガソリン	60,200	+100	灯油	57,050	+200
軽油0.001%S	54,700	unch.	A重油1.0%S	53,250	unch.
LSA重油0.1%S	53,550	unch.			

◎原油輸入平均CIF価格（JCC 円/kl・財務省発表）

15/02/01-28	36,778	15/03/01-31	41,252	15/04/01-30	5月25日発表予定
14/02/01-10	39,191	14/03/01-10	38,743	14/04/01-10	42,322
14/02/11-20	34,752	14/03/11-20	42,260	14/04/11-20	5月13日発表予定
14/02/21-28	36,499	14/03/21-31	42,589	14/04/21-30	5月25日発表予定

r＝修正値

◎原油輸入平均CIF価格予想値（JCC 円/kl、RIM試算値）

4月42,260円 前日比+130円 5月44,060円 前日比+700円 6月48,890円 前日比+4,080円

◎MR船型の日本着輸入価格（ナフサ・重油 ドル/トン その他 ドル/バレル）

	スポット価格	円/kl	プレミアム
ナフサ	+ 586.75～591.75	+ 49,765	8.00/ 9.00
ジェット/灯油	78.40～78.50	59,535	1.40/ 1.50
軽油 0.001%S	79.75～79.85	60,559	2.35/ 2.45
LSWR 0.2%S	+ 69.25～69.35	+ 52,591	8.75/ 9.25*
重油 380cst 3.5%S	379.00～380.00	43,955	12.00/ 13.00
重油 0.3%S	454.25～459.25	52,903	75.00/ 80.00
M100重油	447.25～449.25	51,918	68.00/ 70.00

円ドル換算レート（TTS 円/ドル 5月1日現在） 120.65 *プルタミナフォーミュラに対するプレミアム

◎MR船型の日本積み輸出価格 (重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)

	スポット価格	円/kl	プレミアム
ジェット/灯油	76.20~76.30	57,386	-0.80/ -0.70
米西海岸向け軽油	77.75~77.85	58,552	0.35/ 0.45
軽油 0.001%S	77.45~77.55	58,326	0.05/ 0.15
重油 380cst 3.5%S	363.00~366.00	42,522	-4.00/ -1.00

円ドル換算レート (TTM 円/ドル 5月1日現在) 119.65 還付金の2,540円を含まない

◎MR船型のシンガポール積み輸出価格 (重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)

	スポット価格	プレミアム
ナフサ	63.15~63.25	0.45/ 0.55
ジェット/灯油	76.40~76.50	-0.60/ -0.50
軽油 0.001%S	78.70~78.80	1.30/ 1.40
軽油 0.05%S	77.10~77.20	-0.30/ -0.20
軽油 0.5%S	76.30~76.40	-1.10/ -1.00
重油 180cst 3.5%S	377.25~378.25	-2.00/ -1.00

◎MR船型のインドネシア積みLSWR価格 (ドル/バレル)

	スポット価格	プレミアム
0.35%LSWR	+ 60.25~60.35 +	-0.50/ 0.50*
ExpectedPPF	+ 60.25~60.35 +	

*ブルタミナフォーミュラ (PPF) に対するプレミアム

◎シンガポール・ペーパーズワップ (重油 ドル/トン・その他 ドル/バレル)

	5月	6月	7月
ナフサ	62.65~62.75	62.00~62.10	61.55~61.65
ジェット	76.95~77.05	77.65~77.75	78.30~78.40
ジェット/軽油格差	-0.45/ -0.35	-0.10/ 0.00	0.20/ 0.30
0.05%S軽油	77.35~77.45	77.70~77.80	78.05~78.15
180cst 3.5%S重油	379.00~379.50	379.75~380.25	373.75~374.25
380cst 3.5%S重油	366.75~367.25	368.00~368.50	363.50~364.00

◎シンガポール精製マージン (対ドバイ原油・ドル/バレル)

	5月	6月	7月
ナフサ	-0.74	-2.05	-2.78
ジェット	13.56	13.60	13.97
軽油	13.96	13.65	13.72
180cst重油	-5.09	-5.64	-6.84
380cst重油	-6.98	-7.45	-8.42

◎アジア・バンカー価格 (ドル/mt・届けベース)

	180cst	280cst	380cst	MGO
東京湾	-418.00-421.00	-416.00-419.00	-409.00-412.00	590.00- 600.00
西日本	-424.00-427.00	-422.00-425.00	-414.00-417.00	590.00- 600.00
伊勢湾	-421.00-424.00	-419.00-422.00	-411.00-414.00	590.00- 600.00
韓国	397.00-400.00	389.00-392.00	379.00-382.00	580.00- 590.00
シンガポール	376.00-378.00	371.00-372.00	363.00-366.00	560.00- 570.00

*東京湾、西日本、伊勢湾の価格はMDO

◎韓国出しSR船型輸入採算価格(関税・石油石炭税込み 円/kl)

荷揚げ地	ガソリン		灯油		軽油		A重油	
北海道	68,625	+351	65,760	+339	65,557	+336	60,028	+323
京浜	68,397	+350	65,532	+337	65,329	+334	59,800	+322
中京	68,169	+348	65,305	+337	65,101	+333	59,573	+321
関門	67,866	+347	65,001	+335	64,798	+331	59,269	+319

◎マーケットコメント
元売り市中調達
トッパー停止数・4基・計43万200b/d 停止率=11.0%

1日の確認調達数量はなし。連日浮遊玉の吸収を続けていた民族系大手元売りもこの日は様子見した。ただ、複数の市場関係者によると、水面下では物色に動いた可能性があるという。この日は陸上市場の調達も表面化しなかった。

民族系最大手元売りはマーケットから離脱したまま。外資系元売りもこの日は市場から一時姿を消した。

ガソリン京浜・前日比700円高の62,600~62,800円 西日本・前日比1,000円高の62,000~62,600円

【概況】東西続伸。先物の上昇を受けた。市況連動商談は西日本で月間平均レス500~レス300円、西日本が月間平均レス200円~フラット。陸上関連では、民族系大手元売りが7日以降出荷分に適用する仕切り価格を据え置くと発表した。

【東西渡し】JOF市場では京浜で62,700円(500kl)が成約された。午後2時30分時点、ビッドが62,700円(500kl)、62,650円(200kl)の計700kl提示され、対するオファーは62,850円(500kl)を先頭に63,500円(500kl)まで合計3,000klが並んだ。海外および先物市況の急伸から、先高を意識した新規調達の動きが一部見受けられた。ただ、大型連休明けまでは先物および陸上市況動向を見定めたいとするプレーヤーが引き続き多数を占めているようだ。OTC市場でも元売り各社による調達は表面化しなかった。連日浮遊玉の吸収に動いていた民族系大手元売りもこの日は模様眺めに退いている。また、民族系最大手元売りは市場から離脱したまま、元売り各社につながる成約もこの日は伝えられなかった。両元売りは大型連休中の出荷数量を材料に7日以降、新規調達に動く方針。

西日本はJOF、OTC市場の成約は表面化せず。最終的に大西で60,000円(1,000kl)のビッドが提示されたが、オファーは200klが62,700円とこの日も条件がかみ合わず。阪神はビッドが59,800円(1,000kl)で提示されたが、オファーは65,000円(1,000kl)と売買双方に5,200円の乖離が見られた。OTC市場でも成約は浮上せず。

市況連動商談はJOF、OTC市場で成約はなし。京浜ではJOF市場で月間平均レス300円(500kl)のビッド1件に対し、オファーはレス200円~フラットで計4,000klが並んだ。この日のペーパースワップ価格から算定される月間平均フラットの固定換算値は約62,850円に相当し、レス300円のビッドは約62,550円、トップオファーのレス200円は約62,650円にそれぞれ値する。OTC市場の商談および成約は浮上せず。ただ、売買双方が小幅ディスカウント程度で推移しているようだ。

西日本はJOF市場でビッドおよびオファーが1件も提示されない閑散商況。しかしながら、OTC市場では大西出しで月間平均レス100円のビッドが伝えられ、少なくとも1,000klの引き合いがあるようだ。このほかにも複数の商社が大西、阪神玉を物色する動きが伝えられており、一定量の引き合いがあるもよう。中旬には東燃ゼネラル堺工場(日量15万6,000バレル)、27日にはJX日鉱日石エネルギーの水島B工場第3トッパーが(日量11万バレル)がそれぞれ定期修理入りを予定しており、市場関係者からは「元売りによる玉確保が背景にあるのではないか」といった指摘もあったが、詳細は判然

としない。

【韓国出しSR船輸入コスト試算値】「韓国出しSR船型の輸入採算価格」をご参照ください。

灯油京浜・前日比450円高の57,700～58,100円 西日本・前日比450円高の57,000～57,500円

【概況】上伸。原油、先物高に支援され、東西ともに底上げされた。先物が堅調に推移しており、割安玉には一定の買い気が伝えられた。市況連動は京浜が月間平均レス300～100円、西日本がフラット～プラス200円。

【東西渡し】JOF市場では東西とも午後2時30分までに成約はなく、売買双方で探り合いに終始。京浜ではTOCOM玉57,600円(500kl)、出荷条件フリー57,700円(500kl)、一般玉58,000円(500kl)のビッドが提示され、これにTOCOM玉58,200円(200kl)などが返されたものの、成約には至らず、セッション終了。OTC市場では少なくとも小口200klが57,700円で成約された。地場ディーラー間取引で、TOCOM玉が対象となった。一方、水面下ではダンクプレーの一環として、割安玉を物色する商社や広域ディーラーが見え隠れ。一部は踏み込んだ商談がなされた形跡もあるが、最終確認が取れなかった。民族系最大手元売りや外資系元売りは一時的に市場から離脱しており、民族系最大手元売りも様子見に徹した。

西日本では、JOF市場の阪神で56,000円(1,000kl)、大西で56,200円(500kl)のビッドが提示されたものの、いずれもカウンターオファーはなく、セッション終了。OTC市場では京浜同様、割安玉を物色する市場関係者がチラつくなど、一定の買い気が見受けられた。全体的に浮遊玉は少ないとされ、東西で大きな需給バランスの乱れもないとの声が複数筋から伝えられている。

市況連動商談は、京浜のJOF市場で月間平均フラット(1,000kl×2)のオファーが提示されたものの、カウンタービッドはなく、セッション終了。オファーにはクマリン未添加条件が付くものもあった。OTC市場では、引き続きディスカウント圏内での売買アイデアが先行。ただし踏み込んだ売唱えもなく、レンジは前日と同水準。ペーパースワップ市場をベースにしたこの日の月間平均フラット固定換算値は約58,000円に相当する。

西日本では、JOF市場の大西で月間平均プラス300円(500kl)、500円(500kl)など、プレミアムオファーが提示されたものの、追随する買い気は台頭せず。ただし、OTC市場で踏み込んだ売唱えは見られず、弱地合いとも言い難い。市場筋のアイデアナンバーは月間平均フラット～小幅プレミアム。

【韓国出しSR船輸入コスト試算値】「韓国出しSR船型の輸入採算価格」をご参照ください。

軽油京浜・前日比550円高の57,500～57,700円 西日本・前日比100円高の56,900～57,700円

【概況】続伸。原油高の上昇に連動した。市況連動商談は、京浜で月間平均プラス100円～プラス500円に上昇。西日本では月間平均レス200円～プラス200円に浮上した。この日の輸出価格は59,000円前後で推移した。

【東西渡し】JOF市場では、京浜で57,600～57,650円(各500kl)の4件が成約された。買い手は主に商社系ディーラー、売りは商社、大手ディーラーだという。最終的には57,500円(500kl)のビッドに対し、セッション終了間際に59,000円(500kl)のオファーが提示されたが、それ以上の進展はなかった。OTC市場では水面下で元売りが動いた形跡もあるが、主要陣は市場から一時的に離脱しており、確認は取れない。ディーラー間でも、元売りの動意を背景に商談が交わされた形跡があるものの、詳細は伏せられている。概ね、JOF市場並みのやりとりと伝えられた。ほかのディーラーも陸上が横ばいで推移するなかで、休日を控えて積極的なやりとりは避けられた。西日本では、JOFの阪神で55,000円(1,000kl)のビッドだけ。大西では56,800円(1,000kl)のビッドに対して、57,500円(200kl)と小口のオファーが返されたが、数量面で咬み合わない。OTC市場では、連休を前にディーラー間でも

具体的商談は手控え気味。玉の薄さを指摘する声はあるが、買付けを急ぐ気配もなく、様子見の構え。トレーディングボードにもナンバーの提示はなかった。

市況連動商談は、京浜のJOF市場で月間平均フラット(500kl)のオファーだけ。ビッドは現れなかった。固定値の上昇を受けて気配値も上伸しており、この日のスワップレートをベースにすると、プレミアムが要求される。

【韓国出しSR船輸入コスト試算値】「韓国出しSR船型の輸入採算価格」をご参照ください。

A重油京浜・前日比300円高の54,700~54,900円 西日本・前日比200円高の54,700~54,900円

【概況】東西ともに底上げ。原油相場の上昇を受け、気配値が切り上がった。市況連動は東西ともに月間平均レス400円~レス200円。月間平均フラットを5月のスワップ価格から固定値に換算すると、東西ともに55,100円に相当。原油高を映し、前日から300円切り上がった。

【東西渡し】京浜渡しJOF市場では、セッション終了までにTG直ルート54,800円(500kl)のビッドが浮上した。これに対して、「TG直ではないREF出し」条件のオファーなどが返されたが、成約にはいたらなかった。OTC市場では、商い閑散。大型連休に入る需要家も多いため、商社、ディーラー間では打診ベースのやりとりすらもほとんどみられない。広域ディーラーから55,000円の売りアイデアが寄せられたほかに、ナンバーの提示はなかった。民族系大手元売りは様子見に徹している。

市況連動商談も動きは鈍く、進展はみられない。アイデアベースとして、月間平均レス300円(54,800円相当)のオファーが提示されたのみだった。

西日本は完全様子見ムード。JOF、OTC市場ともにアイデアベースのナンバーの提示も浮上しなかった。京浜同様にバンカーなど需要家向け商談がないため。市況連動商談でも進展はみられない。商談が成立可能なレベルは月間平均レス300円(54,800円相当)前後。原油相場の上昇を受け、スワップ価格が切り上がったため、想定される月間平均フラットは55,100円まで上昇している。

【SR船輸入コスト試算値】「韓国出しSR船型の輸入採算価格」をご参照ください。

LSA重油京浜・前日比150円高の54,900~55,400円 西日本・前日比200円高の54,900~55,100円

【概況】東西ともに小幅高。原油高に連動した。市況連動商談は京浜が月間平均レス400円~プラス100円、西日本は月間平均レス400円~レス200円。月間平均フラットを5月のスワップ価格から固定値に換算すると、東西とも前日比300円高の55,300円に相当する。

【東西渡し】JOF市場では、セッション終了までに京浜のKPIルート55,300円(500kl)のビッドが浮上したが、「KPI応相談」とするオファーが提示されたほかにナンバーの提示はない。OTC市場では、A重油同様に需要家が休暇に入っているために、荷動きは緩慢で、商談の進展はなし。広域ディーラーから京浜で56,000円の売りアイデアが提示された。割高に推移する軽油の基材として使い勝手が良いため、A重油と比較しややプレミアム含みとされた。ただし、買い手は不在。元売りの買いも浮上しなかった。西日本では、アイデアナンバーの提示もなかった。

市況連動商談も進展難。京浜では、月間平均レス300円(55,000円相当)の売りアイデアが提示されたが、買い手はなく、成約には発展せず。成約可能水準は月間平均レス400円(54,900円相当)が上限とみられる。京浜では固定値での買い気からやや上値はプレミアムがついている。一方、西日本では月間平均レス300円(55,000円相当)前後のやりとりが主流となっている。原油市況の底上げで、想定される月間平均フラットは55,300円まで上昇している。

【SR船輸入コスト試算値】「韓国出しSR船型の輸入採算価格」をご参照ください。

LSC重油京浜・前日と同じ49,000～50,000円 西日本・前日と同じ49,000～50,000円

【税込み輸入採算価格】インドネシア出しが55,380円、韓国出しが55,692円、平均価格は前日比416円高の55,536円。

HSC重油京浜・前日と同じ42,600～43,600円 西日本・前日と同じ41,600～42,600円

【概況】京浜、西日本ともに前日から変わらず。5月連休を目前に市場の動きは低調だ。

【東西渡し】各社とも様子見に徹しているため、相場の方角感が掴みにくい状態。市場では5月取引が本格化するのには連休後との声も多い。原油価格が強含む一方で、足元の需要が低調なことから、バンカーグレードの売りアイデアは44,000～45,000円台、買いアイデアは43,000～44,000円台と前日から変わらず。

一方、西日本では今週、四国地方向けに硫黄分2.5%品1,000klの入札が届けベースで42,000円台、EXベースに換算すると41,000円台で落札されていたという。また、別の1,000klは月間平均値プラス400円程度で取引された。発電燃料向けの需要が低調なため、引き続き41,500円台での販売が可能な売り手が見受けられた。

【ボンドバンカー市況の内貨ネットバック価格】京浜の180cstベースで前日比81円安の49,935円。

【硫黄分3.5%品のカーゴ輸出価格】前日比231円高の45,062円。

スワップ取引・東商取概況

【スワップ取引5月限】続伸。先物高を受けた。ガソリンはJOF市場で62,600円、62,700円のビッドが提示されたが、応じるオファーはなかった。OTC市場でも63,000円のオファーは確認される。灯油は、57,500～58,500円とオファーが切り上がった。軽油は57,000～57,500円と、ビッドが続伸。A重油およびLSA重油は54,800～55,400円、55,000～55,600円に上伸した。

【東商取概況】1日の東商取石油先物市場・日中取引は急伸。海外市場の急上昇を受けた。さらに、原油はこの日新甫発会を迎え、ファンドおよび商社系の乗り換えが期先限月で相場を下支えした。ただ、製品市場は連休前のポジション調整売りでクラックは縮小した。ガソリンでも終始売りが先行する展開となり、「商いが本格化するのには連休明け」（有力FCM）と見られる。特にガソリンは連休の出荷数量が相場のカギを握る可能性が高い。

◎国内石油製品海上JOF・OTC成約

JOF成約は2時～2時30分に限定

油種	場所	対象	数量	成約値	条件
ガソリン	京浜	JOF	500	62,700	製油所
灯油	京浜	OTC	200	57,700	トコム玉
軽油	京浜	JOF	500	57,600	製油所
軽油	京浜	JOF	500	57,600	製油所
軽油	京浜	JOF	500	57,650	製油所
軽油	京浜	JOF	500	57,650	製油所

◎マーケットニュース

○アラブ・ライト原油＝4月積みターム価格57.706ドル、前月比5.119ドル高

アジアの石油会社向けとなるサウジアラビア産アラブライト原油(AL)の4月積みターム契約価格(OSP)は、前月比でバレルあたり5.119ドル高の57.706ドルに確定した。指標となるドバイ原油の価格が4月に上昇した(前月比3.892ドル高の58.550ドル)ことを反映した。この他、ドバイ原油、もし

くはドバイ原油とオマーン原油の平均値に連動して決まる中東産および南米産原油の4月積みOSPIは、前月と比べ4.919~5.320ドル高となった。

○東商取＝中東産原油4月限の最終決済価格、前月を上回る

東京商品取引所は1日、中東産原油市場4月限の最終決済価格は前月3月限を2,530円上回る4万4,080円になったと発表した。

◇「トレーディングボード」で配信した情報は、価格評価の対象となります。本紙は「トレーディングボード」で配信する成約/ビッド/オファーの提示を受け付けております。連絡先は国内石油製品チーム:03-3552-2411メール:info@rim-intelligence.co.jp rim@gol.com YahooメッセージID: rim_japan_report

ジャパン石油製品レポートのアセスメントメソドロジー

リンク先:<https://www.rim-intelligence.co.jp/uploaded/assessment/20110526.pdf>

◇RIMジャパン製品レポートの転送は著作権法により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をを用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。**著作権違反が発覚した場合は法的手段を講じたうえで、罰金を請求します。**

◇ガソリン、灯油、軽油、A重油の名古屋着輸入試算値は関税・石油石炭税込み

--EDITORIAL AND SUBSCRIPTION INQUIRY: Tokyo--Tel: (81) 3-3552-2411 Fax:(81)3-3552-2415 e-mail: info@rim-intelligence.co.jp Singapore--Tel (65)6345-9894 Beijing--Tel (86)10-8527-1630 Fax (86)10-6428-1725 Shanghai—Tel (86)21-5111-3575 Fax (86)21-5111-3576 India--Tel: (91) 98795-50717